

回	開催月	会場	講座内容
1	6月	市民会館	開講式・「福島市の歴史と文化」
2	7月	市民会館	「福島城下と戊辰戦争」
3	7月	じょーもびあ宮畑	「福島の古代寺院～西原廃寺を中心に～」
4	9月	じょーもびあ宮畑	フィールドワーク・「日向洞窟と縄文時代の幕開け」
5	10月	じょーもびあ宮畑	「縄文時代の植物利用」
6	10月	民家園	フィールドワーク
7	11月	じょーもびあ宮畑	「明治維新150周年 福島の近代化」
8	11月	市役所集合	福島市史跡めぐりバスツアー
9	1月	市民会館	「福島市の文化財」
10	2月	市民会館	閉講式



▲昨年の信夫山フィールドワークの様子

■**内容** 市の歴史や文化財、戊辰戦争など、座学やフィールドワークを通して学びます。  
 ■**定員** 20人(先着順)  
 ■**対象** 市の歴史や文化財に興味があり、文化財保護活動未経験の方  
 ■**料金** 200円(保険代など)  
 ■**申し込み** 6月15日(金)までに電話か、①氏名②住所③年齢④電話番号明記の上、ファクスで

本市には、民家園の旧廣瀬座をはじめとする有形文化財や、宮畑遺跡、和台遺跡などの史跡、さらに国指定重要無形民俗文化財の羽山ごもりなど、貴重な歴史や民俗が残っています。そうした文化財に興味のある方を対象に講座を開催します。ぜひご参加ください。

■**問・申込**／文化課 ☎525-3785 ☎536-2128

## 福島市の歴史・文化のエキスパートに！ 〜れきぶん人材養成講座受講生募集〜

特別功労章

受章者名	地区	功績
平澤 久	八木田	自治
菅野 富美	立子山	自治・農業委員
安齋 忠作	飯坂町	農業委員

功 労 章

受章者名	地区	功績
遠藤 淳一	町庭坂	商工観光
陶山 宏	御山町	保健福祉
朝倉 一則	飯野町明治	防災
安齋 利勝	飯野町大久保	農業委員
菅野 征男	松川町沼袋	農業委員
橋内 豊明	飯坂町東湯野	農業委員
兒玉 進市	上鳥渡	農業委員
佐藤 富雄	佐原	農業委員
高橋 徳次	岡島	農業委員
守谷 顯一	笹木野	農業委員
山田 誠	飯坂町茂庭	農業委員

※部門ごとの五十音順。敬称略。



▲後列左から

守谷顯一、佐藤富雄、兒玉進市、高橋徳次、山田 誠

中列左から

菅野征男、朝倉一則、遠藤淳一、陶山 宏、安齋利勝、橋内豊明

前列左から

安齋忠作、市長、平澤 久、市議会議長、菅野富美

(敬称略)

市功労章は、長年にわたり本市の公益と振興に尽くされた方々に贈るものです。今年は5月8日に表彰式を行い、3人に特別功労章を、11人に功労章を授与しました。

■**問**／総務課 ☎525-3701

## 市功労章受章おめでとう！

### 皆さんの献血が、命を助けます！

- ★血液は、人工的に造れず、長い期間保存もできません。献血にかかる時間は受け付けから終了まで約40分。その時間で大切な命が救えます。
- ★輸血用の血液の約85%以上は50歳以上の方々に輸血されています。一方で献血いただいている方の約70%は50歳未満です。しかし、若年層の献血者数は年々減少傾向にあります。今後の医療のためにも、特に若い世代の献血のご協力をお願いします。



7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。夏場は夏季休暇やお盆などで、献血していただける方が減少しがちです。輸血用の血液を安定的に確保し、安心して医療が受けられるよう、街頭献血キャンペーンを開催します。献血にご協力いただいた方にキャンペーン限定記念品をプレゼント！

■**とき** 7月1日(日)午前10時～午後4時30分  
 ■**場所** 東口駅前広場ほか  
 ■**問**／保健所総務課 ☎597-6221

## 街頭献血キャンペーン

## 宮畑ミステリーに続け！ なぞなぞ大募集！

大きな謎ミステリーを持つ宮畑遺跡にちなんで、宮畑遺跡や福島の歴史・文化をはじめ、ジャンルを問わず広くオリジナルの「なぞなぞ」を募集します。

■**問**／文化課 ☎525-3785 ☎536-2128

■**募集期間** 6月1日～11月30日(6カ月)  
 ■**応募条件** 自作の未発表作品であること  
 ■**特典** 年間優秀作品の1～3位には「宮畑ミステリー大賞」の本や図書券など豪華賞品有り。  
 ■**答えの発表** 募集月の翌月に、じょーもびあ宮畑体験学習施設と市ホームページで公開  
 ■**応募方法** ①なぞなぞ②答え③解説④氏名⑤年齢⑥住所⑦電話番号⑧ペンネームを明記の上、持参、郵送、ファクス、じょーもびあ宮畑・こむこむ・アオウゼ内投函箱への投函、または市ホームページ申し込みフォームで

## Vision 福島市の目指す小・中学校の将来像

- 市内のどこで学んでも、義務教育9年間を通して、安全・安心な環境の下で、集団の持つ教育力を生かした学びがある、豊かな学校生活が経験できる学校
- 各中学校区を学区とした、義務教育9年間の連続した学びのある教育を推進する学校
- 地域の方々との共働による、地域と共にある学校

## Plan 3つの基本方針のもと計画を進めます

- 1 集団規模に課題を抱える学校の教育環境の早急な改善を図る**  
 現在、在籍0の学年または複式学級があり、今後もその解消が見込めない小・中学校については統合による教育環境の改善を推進する。
- 2 教育活動の一層の充実のため、環境の改善を図る**  
 隣接する複数校との統合や小中一貫校設置により、9年間の連続した学びを展開する新しい学校づくりを推進する。
- 3 安全・安心等の総合的な視点から教育環境の改善を図る**  
 施設老朽化と小規模化が進行する学校について、近隣校との統合と施設更新による教育環境の改善を推進する。

少子化により学級数の減少が進み「社会性や豊かな人間性」を育むために大切な「集団の持つ教育力」の低下が危ぶまれています。また校舎の老朽化への対応も大きな課題となっています。このため、豊かな教育環境の実現のための「市内小中学校の再編」を目的とする「市立小中学校の適正規模・適正配置計画」を、今年度から10年間かけて推進します。今後、各地区で説明会も実施していきます。

■**問**／学校教育課 ☎525-3782

## 理想の教育環境実現に向けて 市立小・中学校の適正規模・適正配置計画